

事務事業調書

平成27年度

事業No	370	課	健康推進課	係	予防係	起案者	高橋信
						決裁者	小笠原浩一
事務事業名	防疫活動事業				事業種別	市民サービス	

1 事業概要

総合計画体系	2 健康で安心して暮らせる環境づくり 1 健康 3 感染症対策・環境衛生 3 防疫活動 1 防疫活動			予算科目(会計)		一般会計	
				予算科目(款・項・目)		20-5-15	
				総合計画以外の計画		環境基本計画	
				関連する総合計画の施策			
				性質区分	市の内部事務事業		
根拠法令	無						
法定受託事務	無						
公約・議会答弁	無						
陳情・市民要望	有	薬剤散布による害虫駆除は、薬害の危険性がある。薬剤散布は廃止して欲しい。(H22)					
実施方法	一部委託	委託先	行政関連団体				
実施期間	開始	平成元年度	経過	26年目	終了	期間	
求める成果 (目的)	誰(受益者)が	市民が			～になる	快適な生活環境を維持することができます。	
事務事業の内容	町内の衛生環境に従事する衛生委員を委嘱し、事業の目的に必要な知識の周知のために衛生委員を対象とした保健衛生説明会を実施します。必要であれば、各町内会の実施する防疫活動に、薬剤と散布機器を貸出をしています。災害に備え、環境消毒薬を備蓄し、散布機器を整備しています。						
改善・対策の履歴	21年度に水和剤(有機リン系ゼーテル水和剤)からより毒性の低い発泡剤に切り替えました。 22年度保健衛生説明会で油剤散布は中止していく方針を示しました。(ただし、地域事情で継続が必要な町内会には配布をしばらく継続します)。 23、24、25、26年度害虫防除の専門家を招いて、薬剤のみに頼らない害虫防除の考え方について講演を実施しました。						

2 事業費(千円)、人員推移(人)

項 目	平成24年度	平成25年度	平成26年度		平成27年度
	(実績)	(実績)	(予算)	(実績)	(予算)
総事業費	7,125	7,471	8,313	7,998	8,298
財源計	5,235	4,636	5,163	4,848	5,148
財源の内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0
	一般財源	5,235	4,636	5,163	4,848
受益者負担金	0	0	0	0	0
職員人件費 (従事職員数)	1,890 (0.30)	2,835 (0.45)	3,150 (0.50)	3,150 (0.50)	3,150 (0.50)
人事課予算分 人件費	0	0	0	0	0

3 各活動にかかるコスト			年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
活動1	活動名 (活動内容)	二兼機貸出	見込	167.00	142.00	140.00	100.00
			実績	169.00	129.00	106.00	
	指標名 (単位)	延べ貸出数(台)	活動の総事業費 (千円)	1,045	625	630	
			活動にかかるコスト (千円)	6.18	4.84	5.94	
活動2	活動名 (活動内容)	油剤配布	見込	306.00	213.00	180.00	180.00
			実績	250.00	189.00	173.00	
	指標名 (単位)	配布数(缶)	活動の総事業費 (千円)	3,158	2,503	2,798	
			活動にかかるコスト (千円)	12.63	13.24	16.17	
活動3	活動名 (活動内容)	発泡剤配布	見込	2,493.00	3,354.00	4,700.00	6,000.00
			実績	3,222.00	4,657.00	5,134.00	
	指標名 (単位)	配布数(袋)	活動の総事業費 (千円)	1,155	1,651	1,444	
			活動にかかるコスト (千円)	0.36	0.35	0.28	

4 成果指標と実績の推移

指標名(単位)				年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
成果1	保健衛生説明会開催回数(回)			目標	1.00	1.00	1.00	1.00
				実績	1.00	1.00	1.00	
	目標達成年度	平成26年度	目標成果指標値	1.00	達成状況	達成	達成	達成
成果2	保健衛生説明会出席率出席町内会／出席依頼町内会(%)			目標	100.00	100.00	100.00	100.00
				実績	96.20	93.60	97.40	
	目標達成年度	平成26年度	目標成果指標値	100.00	達成状況	未達成	未達成	未達成

5 成果1、2以外の成果

成果	・衛生害虫による感染症（デング熱等）の報告はありません。
----	------------------------------

6 各活動にかかるコストと成果の分析

内部の取組や外部要因が与えた影響、課題等	
活動コスト	・二兼機貸出の台数は減っているが、二兼機の部品の交換など整備費用がありコスト増になっております。 ・油剤は配布量は減っているものの、備蓄用に購入したものがあつたためコスト増になっております。
成果	・保健衛生説明会は例年どおり実施しました。参加対象は各町内会長、各町内会の衛生委員です。害虫防除の専門家を講師に招くことによって、ここ数年9割を超える町内会出席率を確保し、防疫事業、環境問題への関心を高めています。

7 所属長の改善案

コスト・成果について、事業の分析を踏まえた具体的な改善案	
・薬剤に頼った衛生環境の維持はコストがかかり、環境や人体への影響も懸念されます。薬剤に比べると、清掃に使用する道具や必要となる消耗品はコストがかかりません。保健衛生説明会などを通じて、薬剤を使用しつつも、害虫が発生する環境そのものをなくしていく総合防除の考え方の浸透を図っていくことを目指します。また、先進的な施策を行っている近隣市の施策について研究を進めます。まずは、油剤による広範囲での薬剤散布に代えて、発泡剤による限定的な薬剤使用に転換していきます。	

8 方向性

必要性、効率性、有効性を踏まえた事業の方向性	
縮小・統合	・感染症の流行や災害に備えるため、消毒薬の備蓄や散布機の点検整備等は必要ですが、町内会の実施する防疫活動に使用する薬剤の配布については、人体への健康被害、環境汚染につながる可能性がありますので、特に油剤の使用を縮減する方向で進めます。